

主 催
関西英語教育学会(KELES)
共 催

大学英語教育学会 (JACET) 関西支部・外国語教育メディア学会 (LET) 関西支部

第 16 回卒論・修論研究発表セミナー プログラム

2013(平成 25)年 2 月 9 日(土)

会場：神戸学院大学 ポートアイランドキャンパス

〒650-8586 神戸市中央区港島 1-1-3

関西英語教育学会HP：<http://www.keles.jp/>

- 受付開始 9:00 (※B 号館・2 階受付にお越しください)

参加費：会員，非会員とも 500 円 ※事前申込不要。当日，予稿集を配布。

- 開会行事 9:20-9:30 (B203 講義室)

司 会：橋本 健一(近畿大学)

開会の挨拶：村田 純一(関西英語教育学会会長・神戸市外国語大学)

- 午前の部 9:40-11:55 (※3 ページをご覧ください)

- ポスターミニプレゼン 12:00-12:10 (第 3 室：B206 講義室)

- ポスター発表コアタイム 12:10-13:00 (※5 ページをご覧ください)

- 昼食休憩 12:10-13:20

スペシャル・トーク 13:20-14:40 (会場：B203 講義室)

「題材内容を重視した CLIL 的技能統合型の英語授業
—第二言語習得理論に基づく検討—」

講 師：村野井 仁 先生

(東北学院大学・教授)

講師紹介：大嶋 秀樹(滋賀大学)

- 午後の部 14:45-17:00 (※6 ページをご覧ください)

- 閉会行事 17:05-17:15 (B203 講義室)

閉会の挨拶：横川 博一(関西英語教育学会幹事長・神戸大学)

レセプション 17:30-19:00

どなたでもご参加いただけます。どうぞお気軽にご参加下さい!!

会費：一般 2,500 円，学生 1,000 円 (当日受付にてお支払い下さい)

会場：神戸学院大学 A 号館 クルーズ・カフェ

発表者の皆さまへ

以下、発表者の皆さまに各発表形式別に簡単な注意事項を記します。

◆ 研究発表（卒論・修論）

- 発表時間 卒論 25 分（15 分 コメント・質疑応答 10 分）
修論 30 分（20 分 コメント・質疑応答 10 分）
- パソコン 各教室にはプロジェクター（及び PC 接続用の VGA ケーブル）は設置されていますが、PC/Mac は各自ご持参下さい。Mac の場合、VGA アダプタが必要となりますので、そちらもご持参下さい。PC/Mac をお持ちでない方は、事前にセミナー担当者に問い合わせして下さい。
- AV 機器 CD や DVD の使用は可能です。MD やカセットは不可。
- 会場下見 発表会場の下見、パワーポイントスライドのテスト等は、午前の部の方は、開会行事後から第 1 発表の間までの時間に、午後の部の方は、昼食休憩の間に、各自で行ってください。
- 発表資料 予稿集・パワーポイントスライド（任意）
別途配布資料を作る場合は個別に準備して下さい。（当日大学構内でのコピーはできません）

◆ ポスター発表

- ポスターミニプレゼン 各発表者によって 1 人 3 分の簡単な概要プレゼンをして頂きます。
ミニプレゼンは、口頭発表で結構です。スライド等を準備する必要はありません。
- コアタイム この時間帯は、ポスター前に待機して下さい。
- ポスター サイズ： 最大 A0 までにて作成（一枚ものでも、A4 を組み合わせても可）
貼付け： ボードに貼付け
貼付けに必要な資材は、学会事務局で準備します。
- 掲示時間： 午前の部終了時から昼食休憩終了まで。
- 発表資料 予稿集・ポスター
別途配布資料を作る場合は個別に準備して下さい。（当日大学構内でのコピーはできません）

参加者の皆さまへ

- 当日はお車でのご入構はできませんので、公共交通機関をご利用下さい。
- 当日は、学内の食堂等は開いておりません。大学周辺にも飲食店・コンビニ等はございませんので、昼食は各自でご持参下さい。
- 発表順、コメンテーター等はやむを得ず変更されることがありますのでご了承下さい。
最新情報は、関西英語教育学会HPに掲載します。
http://www.keles.jp/news/keles_gmt16_program/

午前の部

①9:40～10:10

②10:15～10:45

③10:50～11:20

④11:25～11:55

*発表タイトル前の G は卒業論文、M は修士論文の発表です。

【第1室】(B204) テーマ: 小学校外国語活動(文字導入・読み聞かせ)

コメンテーター: 長谷 尚弥(関西学院大学)・吉田 晴世(大阪教育大学)

- | | |
|---|-------------------|
| ① G: 小学校における文字を書く活動 | 島仲 奈穂
(大阪教育大学) |
| ② G: 小学校での第二言語語彙習得における文字導入の効果 | 杉本 隼也
(京都教育大学) |
| ③ G: 日本の小学校での絵本の読み聞かせにおける状況モデルの構築についての事例研究 | 藤森 美鈴
(京都教育大学) |
| ④ G: リテラシー能力を育てるボトムアップ・トップダウンアプローチの統合的指導の効果 | 松原 加奈
(京都教育大学) |

【第2室】(B205) テーマ: 映画・異文化理解

コメンテーター: 谷村 緑(京都外国語大学)・藪内 智(京都精華大学)

- | | |
|---|-------------------|
| ① G: 映画『英語完全征服』に見る英語熱と韓国らしさ | 富永 祥子
(京都府立大学) |
| ② G: 小学校外国語活動における映画の活用
-内容に興味をもって「聞く力」を育てるために- | 和田 春香
(大阪教育大学) |
| ③ G: 英訳『ONE PIECE』における漫画オノマトペの研究 | 鈴木 光
(京都府立大学) |
| ④ G: 映画を使った上昇調と下降調の付加疑問文の研究 | 嶋崎 絢
(京都府立大学) |

【第3室】(B206) テーマ: 語彙学習

コメンテーター: 赤松 信彦(同志社大学)

- | | |
|-----------------------------------|--------------------|
| ① M: TPR による文法指導および語彙指導による指導効果の研究 | 浅井 玲子
(京都外国語大学) |
| ② M: 語彙学習方略と英語テストの関係分析 | 池田 和美
(大阪教育大学) |
| ③ G: 中学生に対する単語カードを用いた英単語学習法の研究 | 後藤 久也
(大阪教育大学) |

午前の部

①9:40～10:10

②10:15～10:45

③10:50～11:20

④11:25～11:55

*発表タイトル前の G は卒業論文、M は修士論文の発表です。

【第4室】(B207) テーマ: 認知言語学・コーパス

コメンテーター: 木原 恵美子 (神戸大学)・水本 篤 (関西大学)

- | | |
|--|-------------------|
| ① M: 英語動詞派生前置詞の文法化に関する認知言語学的考察 | 林 智昭
(京都大学) |
| ② G: 名詞の可算性に関する考察 | 矢野 利佳
(京都府立大学) |
| ③ M: 母語話者及び日本人学習者による基本前置詞使用 | 松下 英利香
(神戸大学) |
| ④ M: 日本人学習者の名詞コロケーションにおける TAKE の使用
特徴 | 大内 啓樹
(立命館大学) |

【第5室】(B208) テーマ: 小学校外国語活動 (コミュニケーション)

コメンテーター: 生馬 裕子 (大阪教育大学)・今井 裕之 (兵庫教育大学)

- | | |
|--|--------------------|
| ① M: 小学校外国語活動における絵本の読み聞かせ
-視覚情報理解と因果関係性に焦点を当て- | 大江 太津志
(京都教育大学) |
| ② M: 小学校外国語活動における落語を用いたタスク型学習が小
学生にどのように受け入れられるか | 竹田 里香
(関西大学) |
| ③ G: 小学校外国語活動におけるコミュニケーション活動
-インフォメーションギャップ活動をととした活動- | 小泉 皓太
(大阪教育大学) |
| ④ G: 小学校外国語活動における「コミュニケーション能力」 | 吉川 祐希子
(大阪教育大学) |

【第6室】(B209) テーマ: コミュニケーション・方略

コメンテーター: 玉井 健 (神戸市外国語大学)・加賀田 哲也 (大阪教育大学)

- | | |
|---|--------------------|
| ① G: コミュニケーションにおける存在論的諸相 | 吉田 雄太郎
(京都教育大学) |
| ② G: コミュニケーションを維持・促進させる口頭コミュニケー
ション方略の指導: 英国人日本語学習者の事例研究 | 折笠 阿香音
(京都教育大学) |
| ③ G: タスクタイプ別の CS 指導
-初学者に対するその効果と動機づけ- | 鈴木 悠莉亜
(京都教育大学) |
| ④ G: シナリオタスクを使ったコミュニケーション方略教授にお
けるペアごとのインタラクションの違い | 水谷 友梨
(京都教育大学) |

ポスター発表

ミニプレゼン

12:00~12:10

コアタイム

12:10~13:00

*発表タイトル前の G は卒業論文、M は修士論文の発表です。

【第3室】(B206)

M: 小学校外国語活動の協同的な活動における学習者の行動分析
-社会文化理論に基づいて-

坂詰 由美
(兵庫教育大学)

G: 日本の小学校におけるイマージョン教育について

山岡 直貴
(大阪教育大学)

M: Investigating How Japanese EFL Learners' English Rhythm of
Vowel Duration Changes Through Experience of Studying in
English Speaking Countries

鈴木 一大
(立命館大学)

午後の部

⑤14:45～15:15 ⑥15:20～15:50 ⑦15:55～16:25 ⑧16:30～17:00

*発表タイトル前の G は卒業論文、M は修士論文の発表です。

【第1室】(B204) テーマ: 教師・小学校外国語活動

コメンテーター: 有本 純 (関西国際大学)・福智 佳代子 (神戸海星女子学院大学)

- | | |
|---|-------------------|
| ⑤ M: 教師は「英語を英語で教える」をどのように扱うべきか
～「優れた教師」の実践をもとに～ | 鈴木 翔大
(大阪教育大学) |
| ⑥ M: The Effects of Training in Oral Skills on Prospective Elementary School Teachers | 石水 明香
(奈良教育大学) |
| ⑦ G: Hi, friends!における活動設計の視点とその具体例 | 中西 優未
(大阪教育大学) |
| ⑧ G: 外国語活動におけるパペットの活用の効果 | 小松 由佳
(大阪教育大学) |

【第2室】(B205) テーマ: 英語学習における文化・文学

コメンテーター: 加藤 雅之 (神戸大学)

- | | |
|---|-------------------|
| ⑤ M: 「聞き手」におけるポライトネス・ストテジーの考察 | 湯谷 綾子
(京都教育大学) |
| ⑥ M: EFL 環境における家庭内の英語学習資本と英語学習到達度の関連性 -Bourdieu の文化資本論の観点から | 秋篠 遼平
(立命館大学) |
| ⑦ G: 『ジェイン・エア』の研究:
地位に対するジェインのしたたかな意図 | 松山 堇子
(京都府立大学) |

【第3室】(B206) テーマ: 心理言語学・神経言語学

コメンテーター: 中野 陽子 (関西学院大学)・吉田 真美 (京都外国語大学)

- | | |
|--|-------------------|
| ⑤ M: 日本人英語学習者の言語産出における統語的プライミングにインプットのモダリティおよび接触回数が及ぼす影響 | 与那嶺 裕紀
(神戸大学) |
| ⑥ G: 日英プライムによる統語的プライミング効果の比較 | 万波 彩乃
(京都教育大学) |
| ⑦ M: フォーミュラ連鎖の反復学習が文産出の流暢性と正確性に与える影響 | 下吉 真衣
(関西学院大学) |
| ⑧ G: fMRI による日本人英語学習者の母語と外国語(英語)の脳内言語処理についての研究 | 亀井 郁
(滋賀大学) |

午後の部

⑤14:45～15:15 ⑥15:20～15:50 ⑦15:55～16:25 ⑧16:30～17:00

*発表タイトル前の G は卒業論文、M は修士論文の発表です。

【第4室】(B207) テーマ：音読・発音練習

コメンテーター：山根 繁（関西大学）・菅井 康祐（近畿大学）

- | | |
|--|-------------------|
| ⑤ M: 口頭並べ替え練習が及ぼす効果の実用性評価
-スピーキング能力向上の可能性- | 篠崎 文哉
(大阪教育大学) |
| ⑥ M: 音読における内容理解の予測因子と注意制御について
-日本人 EFL 学習者に対する実証研究- | 森 利文
(関西学院大学) |
| ⑦ M: iPad 発音訓練が及ぼす英語スピーキングスキルへの効果 | 上田 愛
(大阪教育大学) |
| ⑧ M: 英語発音の明瞭性に影響を与える要因について
-合成音声を使用した Prosody, Segment エラーの影響度比較- | 石田 香織
(関西大学) |

【第5室】(B208) テーマ：教科書・授業

コメンテーター：氏木 道人（関西学院大学）・沖原 勝昭（京都ノートルダム女子大学）

- | | |
|--|---------------------|
| ⑤ G: EFL リーディングにおける読み手の推論 | 森 まど加
(京都教育大学) |
| ⑥ G: 中学校英語教科書分析に基づいたコミュニケーション方略
のテストデザイン及び評価の提案 | 北浦 友美
(京都教育大学) |
| ⑦ M: An Analysis of Activities and Tasks in Japanese Junior High
School English Textbooks | 橋西 彩楓
(神戸市外国語大学) |
| ⑧ M: 国際理解教育は英語教育にどのように貢献しうるか | 河合 冬樹
(大阪教育大学) |

【第6室】(B209) テーマ：学習者要因

コメンテーター：佐久 正秀（大阪信愛女学院短期大学）・山西 博之（関西大学）

- | | |
|--|--------------------|
| ⑤ M: 高校英語における動機減退要因の分析と克服 | 大草 信彦
(大阪教育大学) |
| ⑥ M: 自尊感情と L2 コミュニケーション不安の関係 | 山中 梓
(関西学院大学) |
| ⑦ M: 小学校外国語活動における自己評価方法と認知プロセス | 長谷川 和代
(兵庫教育大学) |
| ⑧ G: 日本人高校生の学習者自律の育成における学習プロセスの
統制と協働学習の諸効果 | 二宮 宏樹
(京都教育大学) |

会場案内

- ◆ JR 神戸線・阪急・阪神・神戸市営地下鉄「三宮駅」から
神戸新交通ポートライナー「みなとじま」駅下車（三宮駅から約 9 分）
→ 西へ徒歩約 6 分。

* 学内には駐車スペースがありませんので、公共交通機関をご利用ください。

◆会場案内図◆



◆教室配置図◆

